

2009年度

科目名	ゼミナール I		
担当教員	岡島 克樹		
配当	人社3	コード	33740
開期	通年	講時	水曜日3限
		単位数	4
授業テーマ	国内外の社会課題の原因と解決・緩和の取り組みについて学ぶ		
目的と概要	ゼミ生それぞれが地域研究実習で選択したトピックについて、さらに幅広く深い知識と理解を得るために、文献読解を行う。また、自分が理解した内容を他の人と共有するためのコミュニケーション能力を高めるために可能な限り多く発表の機会を設ける。		
成績評価法	ゼミへの貢献(他のゼミ生の発表への質問等)50%、発表50%		
テキスト	とくに定めない。		
参考書	適宜、紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>&lt;前期&gt;          本年度前期のゼミでは、地域研究実習の実習先との関連で、各ゼミ生の興味関心に応じて、以下の3つのグループに属し、共同で文献を探するなどしつつ、個人課題に取り組む。</p> <p>(1)国内スタディツアー班： 日本国内にある社会課題、とりわけ、本年度は地方の地域振興というテーマに着目し、どのような問題がいかなる要因に基づき発生しているのか、また、それに対して行政や市民社会(NPOなど)はどのように対応してきているのかについて、共同で文献調査を行うとともに、個人でレジュメを作成し、発表する。</p> <p>(2)富田林市役所班： 富田林にある社会課題に注目して、共同で文献調査を行うとともに(富田林独自の文献がない場合は、関心ある分野の政府方針などにかかる文献を読む)、個人でレジュメを作成して、発表する。</p> <p>(3)カンボジアスタディツアー班： カンボジアの歴史や社会経済状況、行政・政治システムについて、共同で文献調査を行うとともに、個人でレジュメを作成し、発表する。</p> <p>1回目：ゼミオリエンテーション          2回目：図書館の利用方法          3回目：レジュメ作成方法解説          4回目：発表(3名)          5回目：発表(3名)          6回目：発表(3名)          7回目：発表(3名)          8回目：発表(3名)          9回目：発表(3名)          10回目：発表(3名)          11回目：上級生によるレクチャー(一般企業編)          12回目：上級生によるレクチャー(カンボジア編)          13回目：上級生によるレクチャー(市役所編)          14回目：上級生によるレクチャー(上勝町編)          15回目：まとめ</p> <p>なお、岡島ゼミでは、スタディツアー(国内・海外双方)型の地域研究実習を行ったゼミ生には、もう一つ、一般企業でのインターンシップを経験してもらうことにしている。</p>			

<後期>

後期では、夏に出かけてきた地域研究実習に関して、学外での発表(ワンワールドフェスティバルや三大学合同報告会など)、学内での発表(ゼミ、大阪大谷大学人間社会学会など)の機会を設けるので、積極的に活用してください。また、問題分析力や企画力を鍛えるPCM(プロジェクトサイクルマネジメント)手法を鍛えるセッションも行う。

1回目:後期イントロダクション

2回目:PCMの基本ステップ

3回目:事例1(多文化共生推進)

4回目:事例1(つづき)

5回目:事例1(つづき)

6回目:事例2(生涯学習)

7回目:事例2(つづき)

8回目:事例2(つづき)

9回目:地域研究実習に関するゼミ内発表会

10回目:グループディスカッションの方法解説と実践(中山ゼミとのティームティーチング その1)

11回目:グループディスカッションの実践(中山ゼミとのティームティーチング その2)

12回目:卒論テーマ発表(その1)

13回目:卒論テーマ発表(その2)

14回目:卒論テーマ発表(その3)

15回目:まとめ